

鑑賞、サポートスタッフ、出演、企画、どんな風に参加する？

令和8(2026)～9(2027)年度に鷺沼駅周辺に移転・整備する予定の新しい宮前市民館・図書館の検討に向けて、第9回ワークショップを7月31日(土)に開催し、小中高校生・大学生からベテラン世代まで、27人の方にご参加いただきました。

本ワークショップは、新しい施設で行われる事業や使用ルール等の柱を定める管理運営計画の検討にあたって、皆様と一緒に考えたり語ったりする内容となっており、今回が最終回となりました。

このニュースレターでは、当日のワークショップの様子やいただいたご意見をお伝えします！



「地域の“チカラ”を育む」って？

今回のワークショップのテーマは「「地域の“チカラ”を育む」を考える」でした。

参加者の皆様には、施設への関わり方や施設の活動への参加について考えていただきました。各自でご意見を付箋に書き出した後、皆様で話し合いをしながら、意見を整理していただきました。

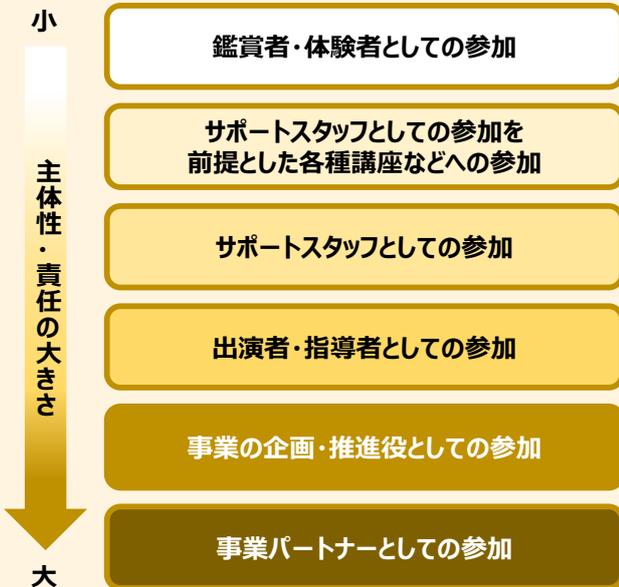
鑑賞者としての参加だけでなく、出演者、指導者、事業企画・運営にも関わりたいなど、様々な意見が出て、グループワークは大いに盛り上がりました！

皆様からのご意見は次のページに続きます。



施設への関わり方とは？

市民の施設への関わり方には様々な形、段階があり、ライトな鑑賞者・体験者としての参加からサポートスタッフ、事業の企画・推進役、事業パートナーなど、責任も伴いながら主体的に関わる形態もあります。



新施設にどんな風に参加したい？

今回のワークショップでは、計6チームに分かれ、施設への関わり方、活動への参加について意見を申し合いました。小中高生・大学生からベテラン世代まで、それぞれの視点でアイデアを出し合って、活発な意見交換が行われました。

施設への関わり方、事業の形態については、施設利用者から事業の企画・推進役まで幅広い関わり方が挙げられました。施設の活動への参加について、サポートスタッフではイベント当日のボランティアや本のお届けサポート、出演者・指導者ではパソコン・スマホの使い方をお教える、事業企画・推進ではお祭りなどの運営等のご意見がありました。

また、活動への参加にあたり、仕組みづくりや相談窓口を設けるなど、サポート体制を望むご意見もありました。全9回のワークショップは今回で終了となります。これまでご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました！

新施設への関わり方の形態	
活動への参加のアイデア	
施設利用者	
市民館	・楽器を使えるスペース（音楽室）があれば利用したい ・発表などだけでなく、習い事の練習としても使えるようになったら良い
図書館	・本を読みに行く、借りに行く ・勉強をしに行く
その他	・地域コミュニティの拠点（馬絹と小台でイベントなど） ・居場所として心地よく使う
鑑賞者・体験者	
イベント等への参加・体験	・イベントを鑑賞・体験する ・講座などに参加する ・お泊りイベント（星空を見る、結晶を作るなど） ・動画の編集 地元のニュースづくり
サポートスタッフ	
準備・人材育成	・まずは研修会、講習会から市民を育てる ・読み聞かせの講習を受けて、サポートスタッフとなる
イベントのサポート	・サポートスタッフとして参加して、地域との交流を深める ・イベント当日のボランティアとして働きたい
業務のサポート（図書館）	・音読ボランティアとしての参加 ・本のお届けサポートスタッフ ・本の整理
業務のサポート（その他）	・外国ルーツの方のお悩み相談員 ・コンシユルジュ（案内役）として働く（ボランティア）
出演者・指導者	
出演者・発表者	・サークル活動の発表会に出演者として ・おやじバンドフェスタ（出演者） ・部活動（主に文化部など）の活動の場 ・絵、小説、ゲームなどの作品を発表したい
指導者・講師	・パソコンやスマホの使い方を教える ・Zoom会議を主催する技術を教える ・特技などを活かした講座を開催（大工工作など）
事業企画・推進	
事業企画・推進	・企画、運営に参加したい ・お祭りなどの運営 ・同じ趣味の人を募ってイベントを作りたい ・大学のサークルが気軽に参加できる企画 ・駅とつながる企画 東急とコラボする
活動グループ・組織	・市民館の利用団体で利用者運営委員会を作り、利用ルール、事業企画、市民活動支援等を行う
参加時期	・イベントの企画、運営委員として関わりたい（開館1年前くらいから）
その他	・多世代交流スペース、居場所を開設、運営
市民参加全般	
仕組みづくり・支援体制	・サポートスタッフのハローワーク（掲示板の設置など） ・グループ作りの支援、講座 ・多様な分野の団体の知恵を提供できるような市民活動相談窓口をつくる

まだまだ掲載しきれないほど、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました！

なんでもアンケート

ワークショップ終了後に参加者の皆様からいただいた感想・ご意見をご紹介します。



今回のワークショップでは、若い方の意見をたくさん聞いて、まさに世代間交流の実現の機会となり、それが一番楽しかったです。

自分の思っていたことを意見としてたくさん言えたほか、自分とは違う世代の話を聞いて新しい考えを持つことができました。



これまで市民館・図書館に来にくかった方々にも開かれた施設であってほしいなと思っています。

小中高校生等若い人たちの全回参加が素晴らしかったです。この創る過程への参加は、開館後の企画・運営にも活かされ続けると思います。



これまでとこれから

本ワークショップは、令和2（2020）年8月から始まり、約1年かけて全9回開催し、延べ約250名の方にご参加いただきました。

各回テーマを設定し、新しい施設でやりたいこと、施設の機能、年間スケジュール、規則、施設間の連携、アウトリーチ、市民参加など、幅広いテーマについて、参加者の皆様からアイデア、ご意見をいただきました。

皆様からいただいたアイデア、ご意見については、条例・規則や市内の類似施設との整合性等も踏まえ、実現に向けた方策を検討していきます。



アウトリーチ、市民参加など、幅広いテーマについて、参加者の皆様から

あたらしい宮前市民館・図書館を考える
ワークショップに関する情報はこちら



お問合せ

〒210-0005
川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビル13階
川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
TEL 044-200-1981 FAX 044-200-3950